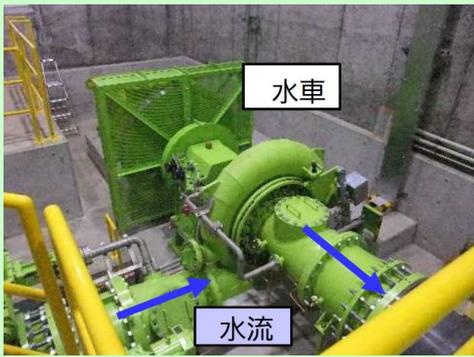


上下水道事業の 資産の活用について

資産利活用の実績

小水力発電について



目的：低炭素社会の推進やエネルギー自給率の向上を図る。
場所：堀口浄水場の約2 km西方
手法：官民連携（発電所の建設及び管理運営は民間事業者が実施）
民間事業者：日本工営株式会社及び株式会社工営エナジー
契約内容：締結日 2017年8月9日(契約期間約22年6ヵ月)
契約の種類：賃貸借契約(上下水道局は場所の貸付等)
水力発電所の所有：民間事業者（株式会社工営エナジー）
一年間の収入：約2500万円

3

上下水道局北側敷地の貸付けについて



目的：未利用資産の利活用。
※駐車場として利用

場所：上下水道局庁舎北側敷地

貸出事業者：東北電力株、東北電力ネットワーク株

契約期間：令和4年4月～令和5年5月

面積：東北電力株 286.19㎡
東北電力ネットワーク株 1292.74㎡

一年間の収入：約340万円

※その他の利活用実績

- 麓山地区公共施設臨時駐車場
相手：文化スポーツ部文化振興課
期間：2021.12～2023.2
- 災害時車中避難等駐車場
相手：総務部防災危機管理課
期間：2019～
- 上下水道局西側駐車場の一般利用
相手：市民
期間：2021～

4

資産利活用の検討

5

下水道管理センター サウンディング調査の参加について



【事業名】
郡山市下水道管理センター敷地利活用事業

【目的】
下水道管理センターは、2008年(H20)に県中流域下水道の接続替えに伴い、不要となった下水処理施設を年次計画により撤去し、撤去後の用地等についても利活用の検討を進めている。

【経過】
管理センターは郡山駅から近く、民間活力導入を含めた多様な土地利用が期待できることから、今年度は、国の官民連携の方針も踏まえ、民間のアイディアや市場性、課題等を広く把握することを目的として、国土交通省主催「地方ブロックプラットフォーム サウンディング(官民対話)」に参加(R4.11.9)している。

現況写真 (R4.6.2)



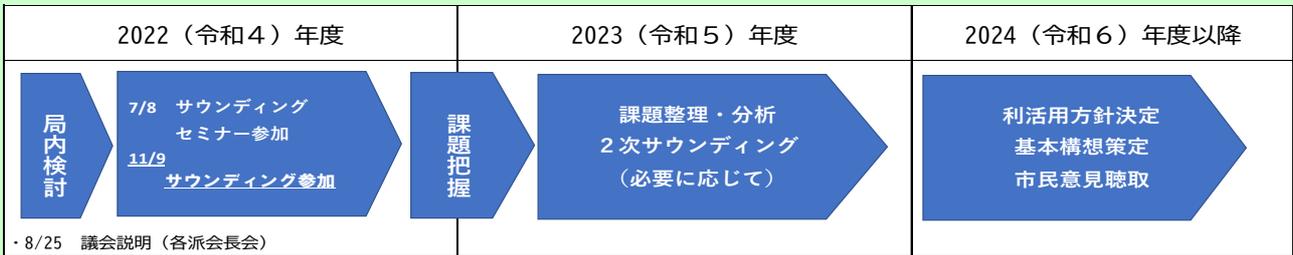
6

下水道管理センター サウンディング調査の参加について

施設の概要

| | |
|----------|--|
| (1)施設 | 郡山市下水道管理センター（郡山市横塚三丁目1-1 工業地域、準防火地域） |
| (2)敷地面積 | 34,077㎡（一部制約あり） |
| (3)主な施設 | 管理棟（1969年建設）、沈砂池、簡易処理施設、ポンプ棟 |
| (4)直近の工事 | ポンプ増設（2020-2021年度）、放流渠・樋門改築工事中（2020-2022年度）、不要処理施設の撤去工事（2016年度から年次計画で） |
| (5)解体事業費 | 556,298千円（R5年度以降の3施設解体撤去費用140,000千円を含む。） |

スケジュール



今後の上下水道事業の未利用地活用の検討

